

第51回 なくせ！建国記念の日 許すな！靖国国営化 2.11東京集会

日時:2017年2月11日(土)14:00~16:00(終了後デモ)

★会場費:800円(高校生以下無料) ★場所:在日本韓国YMCA アジア青少年センタースペーススイホール(地下)

信じたように生きる -次世代とともに-

2016年の臨時国会でのTPP関連法案強行、カジノ法案強行、年金カット法案強行。そして違憲な任務を付加された自衛隊海外派兵、とどんなに重大な問題が指摘されても、聴く耳持たぬ強行によって押しつぶされる今日。対話を拒否する「決められる政治」はまるでプレーキが壊れた暴走列車のよう。

「バベルの塔」のように言葉が通じず、対話が成り立たない現実、国会ばかりではなく、世代の隔たりや世論の無関心も同様に深刻です。大事な問題を、どのように人々と共有し、次世代に伝えたいのか…。

今年の講師・大嶋重徳氏は、大切なことを伝える言葉をもって語り、対話することに情熱を傾けてきた方です。特にこの時代の中で平和を創ることについて若い世代の人々と共に、本気で(ガチに)対話して、立場を越えて、世代を越えて共有することに活躍をしています。2013年7月22日、参議院選挙にて特定秘密保護法の成立を目指す与党が圧勝した、その翌日に「キボコク・希望を告白する夜」を開き、200名を超える若者たちと、

「結果がどれほど最悪なものであっても、僕たちは決して失望しない！」との思いを確認し合いました。何とはなしに大きな流れに押し流されて、「何かおかしい」と悩みながらも「もう諦めるしかないのか」と失望しかけた青年たちに、キボコクは「いや、祈り続けていくんだ」と終末の希望を灯しました。その後、秘密法が強行された際にも、安保関連法が強行される元となった2014年11月衆議院総選挙の与党圧勝の際にもキボコク2、キボコク3、そして平和を創る者のための祈り会「PMPM」を大勢の若者たちと共に開催して、今この時代に平和を創ることに責任を負い、希望を失わずに祈り続け行動し続けることを呼びかけ続けています。キリスト者として平和を伝えてきた講師の生き様は、きっとクリスチャンではない方々にとっても大きな励ましと勇気を与えるものとなると確信しています。

★講師からのメッセージ

「若い世代は、このテーマに無関心のように見えるかもしれませんが、しかしそんなことはありません。彼らと一緒にこの国に生きるキリスト者として、「信じたように生きる」神の民が起こされていくことを願いたいと思います。」



講師:大嶋重徳氏
キリスト者学生会
(KGK)総主事

1974年京都府生まれ、京都教育大学、神戸改革派神学校で学び、キリスト者学生会主事として大学生たち、青年たちと関わって20年。著書『自由への指針・「今」を生きるキリスト者の倫理』(教文館2016年)、『若者と生きる教会・伝道、教会教育、信仰継承』(教文館2015年)、『おかんとボクの信仰継承』(いのちのことば社2013年)



主催:2.11東京集会実行委員会

後援:日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会・東京地方バプテスト教会連合社会委員会

集会賛同金にご協力お願いします。

個人 一口1,000円/団体 一口3,000円 振込先(郵便振替) 00140-4-75776 2.11東京集会実行委員会